



マルチキャスト エクストラネットの構成

この章では、Cisco NX-OS スイッチでマルチキャストエクストラネットを構成する方法を説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [マルチキャスト エクストラネットに関する詳細 \(1 ページ\)](#)
- [マルチキャスト エクストラネットの注意事項と制限事項 \(1 ページ\)](#)
- [マルチキャスト エクストラネットの構成 \(2 ページ\)](#)
- [マルチキャスト エクストラネット構成の確認 \(3 ページ\)](#)

マルチキャスト エクストラネットに関する詳細

現在の NX-OS マルチキャスト実装では、マルチキャストトラフィックは同じ VRF 内のみでフローできます。マルチキャストエクストラネット機能では、企業ネットワークのソースとは異なる VRF にマルチキャスト レシーバが存在する場合があります。

マルチキャストエクストラネットを使用すると、レシーバ VRF のマルチキャスト ルートの RPF ルックアップをソース VRF で実行できるため、有効な RPF インターフェイスを返すことができます。これにより、レシーバ VRF からソース VRF へのソースまたは RP ツリーが形成され、ソース VRF から発信されたトラフィックをレシーバ VRF の OIF に転送できるようになります。

別の VRF で RPF 選択をサポートするには、`ip multicast rpf select vrf` コマンドを使用します。

マルチキャストエクストラネットの注意事項と制限事項

マルチキャストエクストラネットには、次の注意事項と制限事項があります。

- 送信元と RP は同じ VRF にある必要があります。
- マルチキャスト NAT とマルチキャストエクストラネットは、同じボックスの同じグループに対して共存しないようにしてください。
- Auto RP は、マルチキャストエクストラネットではサポートされていません。

- 必要なマルチキャストルートと VRF の数によって、マルチキャストによるメモリ消費量が決まります。
- マルチキャスト VPN (MVPN) エクストラネットは、マルチキャストエクストラネットではサポートされていません。
- RPF ルックアップは、**ip multicast rpf select vrf** コマンドで指定された VRF で実行されます。フォールバックモードはサポートされていません。
- ファストパスモードでの ASM マルチキャストグループ変換では、未変換グループのスタティック OIF を IGMPv2 インターフェイスで構成する必要があります。送信元固有のスタティック OIF 構成 (IGMPv3) はサポートされていません。

マルチキャストエクストラネットの構成

始める前に

開始する前に、PIM が有効になっていることを確認してください。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **ip multicast rpf select vrf src-vrf-name group-list group-range**
3. (任意) **show ip mroute**
4. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	コンフィギュレーションモードに入ります。
ステップ 2	ip multicast rpf select vrf src-vrf-name group-list group-range 例 : <pre>switch(config)# ip multicast rpf select vrf red group-list 224.1.1.0/24</pre>	別の VRF での RPF 選択をサポートします。サポートを無効にするには、このコマンドの no 形式を使用します。 vrf src-vrf-name は送信元 VRF 名です。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。 group-list group-range は RPF 選択のグループ範囲です。形式は A.B.C.D/LEN で、最大長は 32 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	(任意) show ip mroute 例： switch(config)# show ip mroute	IPv4 マルチキャストルートの実行コンフィギュレーション情報を表示します。
ステップ 4	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config)# copy running-config startup-config	設定変更を保存します。

マルチキャストエクストラネット構成の確認

マルチキャストエクストラネット構成情報を表示するには、次のタスクのうちいずれかを実行します。

表 1:

コマンド	目的
show ip mroute	IPv4 マルチキャストルートの実行コンフィギュレーション情報を表示します。

次の例では、IPv4 マルチキャストルートのルーティング構成に関する情報を表示する方法を示します。

```
switch(config)# show ip mroute
IP Multicast Routing Table for VRF "default"

(*, 225.1.1.207/32), uptime: 00:13:33, ip pim

Incoming interface: Vlan147, RPF nbr: 147.147.147.2, uptime: 00:13:33

Outgoing interface list: (count: 0)

Extranet receiver in vrf blue:

(*, 225.1.1.207/32) OIF count: 1

(40.1.1.2/32, 225.1.1.207/32), uptime: 00:00:06, mrib ip pim

Incoming interface: Vlan147, RPF nbr: 147.147.147.2, uptime: 00:00:06

Outgoing interface list: (count: 0)

Extranet receiver in vrf blue:

(40.1.1.2/32, 225.1.1.207/32) OIF count: 1
```

```
switch(config)#
```

これらのコマンドからの出力でフィールドに関する詳細情報は、『[Cisco Nexus 3000 シリーズ マルチキャストルーティング コマンドリファレンス](#)』を参照してください。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
CLI コマンド	Cisco Nexus 3000 シリーズ マルチキャストルーティング コマンドリファレンス

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。